



世界の不思議な税金たち

大田区立出雲中学校 三年 西本 胡桃

先日、私は学校で租税教室を受けました。ここでは税の種類、使い道、税を納めることの大切さを学びました。

日本ではそれぞれの税を分類することができます。私たちに一番身近である消費税は国税、間接税のひとつです。その土地に住むときに納める県民税と住民税は地方税に、そのうち住民税は直接税と普通税にも分類されます。これらの使い道は決まっていますが、用途が決まっている目的税というものもあります。

以上が日本の税の種類ですが、私はふと、外国も日本と同じ税を納税するのか気になりました。そこで、海外はどのような税があるのかも調べてみました。

例えば、中国では月餅と呼ばれる円形の平たいお菓子を課税対象とする月餅税が導入されています。また、ヨーロッパの一部の国では犬を飼っている家庭に課せられる犬税もあります。こちらはかつて日本の一部の地域でも採用されていたそうです。更にアメリカにはソーダ税、ハンガリーにはポテトチップス税もあることがわかりました。

日本にも世界からすると珍しい入湯税というものがあります。しかし、なぜ税はこんなにも沢山設定されているのでしょうか。

先程例に挙げた月餅は中秋節に月を見ながら頂くといった習慣があります。そのため消費量が多いから導入しています。犬税は安易に犬を飼い、繁殖させようとする人を減らすために取り入れられたようです。飼い主に責任感をもたせる効果もあります。ソーダ税とポテトチップス税は、肥満の一つの原因となる塩分や糖分が多く含まれているため税の対象となっているようです。税金にすることで健康増進を促すのはとてもいいと感じました。また、入湯税は環境衛生施設や鉱泉源の保護管理施設の整備や、観光の振興を目的としたものになっています。料金に含まれている知らない人多いそうです。

これらより、税を沢山設定するのは『税金がそもそも足りない』の』税を使って何かを抑制する』の二つの見方ができます。私は日本の場合、どちらかと言えば前者よりの気がします。世界国債ランキングで日本は二番目に借金が多いからです。

税について、私はあまりいいイメージは持っていませんでした。しかし、中には国民のためを思って税を課しているものもあり、そこは驚きでした。税に対してのイメージが前よりよくなったと私は思います。私たちが納めた税金がまわりまわって自分のため、誰かのためになるといいなと思いました。